

# ユーザーマニュアル

# SketchUp Pro 2018



# はじめに

SketchUpPro2018 をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
本書は SketchUp Pro2018 ユーザー向けに作成して、パッケージに同梱をいたしました。  
各ツールなどの説明が詳細に記載されておりますので参考書としてご利用ください。

SketchUpPro2018 では各断面に名前が付けられたり、断面表示機能が大幅に改良されています。また LayOut にも改良がなされて大変便利になりました。

本書のみならず、以前よりご案内している日本語のヘルプサイト「ナレッジ JA (ヘルプ)」やテクニカルサポート情報を掲載しています「サポートサイト」も更なる拡充しておりますので合わせてご利用ください。

Pro ユーザーの為のパーツライブラリ「Build Mate」も更新されて掲載数が増えています。また SketchUp Pro2017 より DXF インポーター「DXFt\_importer」を配布しておりますが、こちらは引き続き今回のバージョンに対応したプラグインを配布させていただきます。本プラグインを利用すると図面データのみならず、テキスト文字までインポート可能です。詳細は CD に同梱されている PDF をご覧ください。

SketchUpPro をご利用いただき問題が生じた場合にはテクニカルサポートにお問い合わせください。

お問い合わせは

<https://www.alphacox.com/company/contact/> から可能です。

または [support@alphacox.com](mailto:support@alphacox.com) まで email をお送りください。

SketchUpPro を学習していく有用な方法の 1 つにトレーニングがあります。

全国に「認定トレーナー」が配置されています。

「認定トレーナー」は株式会社アルファコックスが自信をもってご紹介できる一定以上の知識をもったトレーナーです。

この機会にトレーニングを利用して技術を習得して頂ければ幸いです。

「認定トレーナー」によるトレーニングの予定は弊社のサイトに情報を掲載しています。

今後も SketchUp Pro をよろしく願います。

株式会社アルファコックス  
代表取締役 廣瀬 繁伸

本書は「SketchUp Pro2018 コマーシャルライセンス」には特典として付属しています。

全ての操作を網羅しているわけではございません。

本書は SketchUp Pro2018 を元に作成されていますので Free ではご利用頂けない機能がございます。またご使用になっているマシンの性能如何により本書と同じ結果が得られない可能性があります。

本書の著作権・商標・商標登録に関する記述は本書の巻末に記述しています。

# 目次

<b>= SketchUp 編 =</b>		<b>-007-</b>
<b>01. インストール</b>		-009-
<b>02. ライセンス認証 / ライセンス削除</b>		-012-
<b>03. 環境設定</b>		-014-
1. テンプレートの選択		-014-
2. Open GL 設定		-016-
3. アクセシビリティ		-017-
4. アプリケーション		-018-
5. ショートカット		-018-
6. ファイル		-020-
7. ワークスペース		-021-
8. 互換性		-022-
9. 全般		-023-
10. 描画		-025-
<b>04. 拡張機能マネージャー</b>		-028-
<b>05. モデル情報</b>		-031-
1. アニメーション		-031-
2. クレジット		-032-
3. コンポーネント		-033-
4. ジオロケーション		-034-
5. テキスト		-035-
6. ファイル		-036-
7. レンダリング		-038-
8. 寸法		-039-
9. 単位		-041-
10. 統計		-043-
11. 分類		-044-
<b>06. ツールアイコン</b>		-045-
1. 画面解説		-045-
2. ツールアイコンセットの配置		-046-
3. ツールアイコン		-048-
①基本ツール/②ラジツールセット/③場所/④アドバンスカメラツール		
⑤カメラツール/⑥ギャラリーツール/⑦サンドボックスツール		
⑧スタイルツール/⑨ソリッドツール/⑩ビューツール/⑪影ツール		
⑫構築ツール/⑬主要ツール/⑭測定ツール/⑮断面ツール		
⑯動的コンポーネントツール/⑰描画ツール/⑱分類ツール/⑲編集ツール		
⑳ Trimble Connect ツール		
<b>07. 各種ウィンドウ</b>		-092-
1. エンティティ情報		-093-
2. マテリアル		-094-
①既存のマテリアルを使う/②マテリアルの編集		
③マテリアルの調整/④イメージをマテリアルとして利用する		
3. コンポーネント		-099-
①既存のコンポーネントを使う/② 3D Warehouse を利用する		
③ BuildMate を利用する/④コンポーネントを作る		
⑤コンポーネントのオリジナルコレクションを作成する		
4. スタイル		-106-
5. アウトライン表示		-111-
6. シーン		-112-
<b>08. ファイルのインポート / エクスポート</b>		-114-
1. インポートファイル		-114-
①インポートオプション/②インポート単位/③ 2D グラフィック データのインポート/④ CAD データのインポート		
2. エクスポートファイル		-118-
① 2D データのエクスポート/②エクスポートオプション ③ 3D データのエクスポート		
<b>09. レポートを生成について</b>		-132-
<b>10. トレイについて</b>		-135-
1. トレイの追加		-136-
2. トレイの位置を移動する		-136-
3. トレイのタブの操作		-137-
4. トレイの非表示		-138-
5. トレイを自動的に隠すようにする		-138-
<b>= LayOut 編 =</b>		<b>-141-</b>
<b>01. 起動と初期画面</b>		-143-
1. 用紙の選択 (テンプレートの使用)		-143-
2. 環境設定		-145-
①アプリケーション/②バックアップ/③フォルダ/④全般		
⑤プレゼンテーション/⑥縮尺/⑦ショートカット/⑧起動		
<b>02. 描画ツール</b>		-147-
1. 選択ツール		-147-
2. 線ツール		-148-
3. フリーハンドツール		-150-
4. 円弧ツール		-150-
5. 2点円弧ツール		-150-
6. 3点円弧ツール		-151-
7. 扇形ツール		-151-
8. 長方形 角丸 俵型 樽型		-152-
9. 円ツール		-152-
10. 楕円ツール		-152-
11. ポリゴンツール		-153-
12. オフセットツール		-153-
13. テキストツール		-154-
14. ラベルツール		-155-
15. 直線寸法ツール		-156-
16. 角度ツール		-156-
17. 表ツール		-157-

<b>03. ドキュメント設定</b>	-159-
①自動テキスト/②グリッド/③グループ/④用紙/⑤参照/⑥単位	
<b>04. 準備からテンプレート設定まで</b>	-162-
1. 準備	-162-
①用紙の設定/②単位の設定	
③グリッド表示とスナップの設定/④グリッド間隔の調整	
2. 画面枠のドローイング	-163-
①枠の作成/②テキストの挿入	
3. レイヤの設定	-164-
①レイヤの表示/②レイヤの追加	
③エンティティのレイヤ変更/④レイヤの属性を変更する	
4. ページの作成	-167-
①ページの表示/②ページの追加	
5. テンプレートとして保存	-169-
<b>05. SketchUp モデルの挿入</b>	-170-
1. SketchUp モデル	-170-
① SketchUp データの挿入/②シーンと標準ビュー	
③モデルを尺度指定して表示/④マルチビューポート寸法の作成	
2. 「縮尺図面」ダイアログボックス	-172-
<b>06. 表の挿入</b>	-173-
<b>07. DWG/DXF ファイルの挿入</b>	-175-
<b>08. レンダリング設定とモデルの調整</b>	-176-
1. レンダリング設定	-176-
① SketchUp データの挿入	
2. 挿入した SketchUp モデルの調整	-178-
①モデルの編集/② SketchUp モデルの線の太さの変更と「分解」	
<b>09. プレゼンテーション</b>	-180-
1. プレゼンテーション	-180-
①ページの選択/②プレゼンテーションの開始/③アニメーションの再生	

## = Style Builder 編 = -183-

<b>01. 起動と初期画面</b>	-185-
1. ユーザーインターフェイス	-185-
①メニュー/②ストロークタブ/③設定タブ/④セットパネル	
⑤スタイルプレビュー	
2. オリジナルのスタイルの作成	-186-
①新規作成/②ストローク	
<b>02. ストロークのロードと作成</b>	-187-
1. ストロークをロード	-187-
① Style ファイルからストロークをロードする	
②テンプレート使ってストロークをロードする	
③各サイズのストロークデータをフォルダごとロードする	
<b>03. ストロークのセットとデータの保存</b>	-191-
1. 登録するストロークをセットする	-191-
①個別に選択してコピーする場合/②テンプレートごとコピーする場合	
2. セットしたストロークの削除	-193-
3. スタイル調整	-193-
4. データの保存	-194-
5. SketchUp で .style データをインポートする	-194-

## = BuildMate 編 = -195-

<b>01. BuildMate の準備</b>	-197-
1. インストール	-197-
①拡張機能として認識させる/②ライセンス認証	
<b>02. BuildMate の活用</b>	-199-
1. BuildMate を起動する	-199-
2. BuildMate を使う	-200-
①コンポーネント (SketchUp モデル) /②マテリアル	
3. アンインストール	-202-